

ステージへ



NEXT STAGE

を探る

「地デジ」が需要をけん引してきたテレビ市場にターニングポイントが訪れようとしている。

地デジ完全移行後にテレビ、AVビジネスをどう展開すればいいのか。

「テレビの次もテレビ」——テレビは家電の主役であり

地デジ後もAV市場をリードする存在であることは間違いない。

では、その手だてとは一体何なのか。そしてそれ以前の課題がある。

今年3月のエコポイント切り換えに伴う駆け込み需要で店頭が大混雑したのも記憶に新しいところだが、

エコポイント終了と商戦期が重なるこの12月は、それ以上の混乱が予想される。

対応策として、そのピークをできるだけ前倒ししていきたい。

今年大きな話題となっている「3D」を筆頭に、録画機能搭載、ネットワーク対応などさまざまなテーマが存在、

メーカー各社それぞれのテレビ展開に対する姿勢が徐々に見えて来た。

現時点でそれらを総括するとともに、主要販売店における年末、および地デジ移行後の対応策を取材し、

レポートとして紹介する。これから刻々と変化する状況に対応し、本誌では随時このテーマを追跡する。